

2 平成29年主要災害種類別被害概況

(1) 台風第3号及び梅雨前線による大雨の農作物被害

台風第3号及び梅雨前線による大雨により、冠水、土砂流入、茎葉の損傷等が発生し、被害面積は9,020ha、被害見込金額は34億8,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、水稻が11億2,000万円（被害総額の32%）と最も大きく、次いでねぎ等の野菜が9億9,700万円（同29%）、かき等の果樹が8億6,100万円（同25%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、福岡県が21億4,000万円（被害総額の61%）と最も大きく、次いで秋田県が7億6,800万円（同22%）、熊本県が2億2,400万円（同6%）となった。

(参考) 気象概況

6月30日から7月下旬にかけて、梅雨前線の活動が活発になった時期があったため、北・東・西日本日本海側を中心に局地的に大雨となった。特に、7月5日から6日にかけては、西日本日本海側で「平成29年7月九州北部豪雨」が発生するなど記録的な大雨となった。

台風第3号は、7月3日3時頃に石垣島を通過し、4日8時頃に長崎県長崎市付近に上陸した後、東に進み、愛媛県宇和島市付近に再上陸、四国を横断し、和歌山県田辺市付近に再上陸、東海・関東沖を東に進み、5日9時に日本の東の海上で温帯低気圧となった。

表1-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	9,020	1,830	11,600 763 千本 1,300 千鉢	3,480	100	
水 陸 稲	4,970	568	5,380	1,120	32	秋田、福岡、大分
か ん し ょ	0	-	0	0	0	新潟
雑 穀 ・ 豆 類	2,330	773	565	71	2	秋田、富山、新潟
野 菜	485	252	1,910	997	29	福岡、秋田、熊本
果 樹	643	198	3,000	861	25	福岡、熊本、大分
工 芸 農 作 物	433	-	110	244	7	熊本、長崎、秋田
飼 肥 料 作 物	137	35	589	7	0	福岡、秋田
そ の 他 農 作 物	15	7	763 千本 1,300 千鉢	179	5	福岡、秋田、大分

注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年（平均）収量の30%以上あった面積をいう（以下の各表において同じ。）。

2 その他農作物は、切り花類、種苗・苗木類等である（以下の各表において同じ。）。

3 被害量の単位はtである。それ以外は、切り花類及び種苗・苗木類は千本、鉢物類は千鉢、切り葉は千枚である（以下の各表において同じ。）。

(2) 台風第18号による農作物被害

台風第18号により倒伏、落果、冠水等が発生し、被害面積は6万1,100ha、被害見込金額は24億9,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、さとうきび等の工芸農作物が8億4,400万円（被害総額の34%）と最も大きく、次いで日本なし等の果樹が6億9,900万円（同28%）、水稻が3億800万円（同12%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、沖縄県が7億1,100万円（被害総額の29%）と最も大きく、次いで北海道が4億3,700万円（同18%）、新潟県が3億6,900万円（同15%）となった。

(参考) 気象概況

台風第18号は、宮古島地方と石垣島地方の一部を暴風域に巻き込みながら、9月13日に非常に強い勢力で宮古島に最接近し、15日には東シナ海で向きを東寄りに変え、17日12時頃に鹿児島県垂水市付近に上陸した後、高知県西部、兵庫県明石市付近に再上陸、18日に新潟県沖で温帯低気圧となった。

また、台風を取り巻く発達した雨雲や本州付近に停滞した前線の影響により、西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となった。

表 2 - 1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	61,100	474	77,000 175 千本 12 千鉢	2,490	100	
水 陸 稲	18,300	185	1,360	308	12	新潟、大分、愛媛
か ん し ょ	2,510	-	530	29	1	鹿児島、新潟
雑 穀 ・ 豆 類	2,460	136	238	46	2	北海道、大分、福島
野 菜	1,310	11	1,010	260	10	北海道、高知、香川
果 樹	4,460	94	3,180	699	28	新潟、長野、岩手
工 芸 農 作 物	15,900	-	37,100	844	34	沖縄、鹿児島、群馬
飼 肥 料 作 物	16,100	48	33,600	295	12	北海道、長野、青森
そ の 他 農 作 物	28	0	175 千本 12 千鉢	10	0	大分、徳島、福島

(3) 台風第21号及び第22号による農作物被害

台風第21号及び第22号により茎葉の損傷、落果、冠水等が発生し、被害面積は5万1,800ha、被害見込金額は73億3,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、キャベツ等の野菜が47億6,000万円（被害総額の65%）と最も大きく、次いでりんご等の果樹が9億3,900万円（同13%）、大豆等の雑穀・豆類が7億1,400万円（同10%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、千葉県が25億9,000万円（被害総額の35%）と最も大きく、次いで鹿児島県が6億9,300万円（同9%）、高知県が6億6,000万円（同9%）となった。

(参考) 気象概要

台風第21号は、10月21日から22日にかけて日本の南を北上し、23日3時頃、超大型・強い勢力で静岡県御前崎市付近に上陸した。台風はその後、広い暴風域を伴ったまま北東に進み、23日15時に北海道の東の海上で温帯低気圧となった。台風を取り巻く発達した雨雲や本州付近に停滞した前線の影響により、西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となった。

台風第22号は、10月28日に暴風域を伴って沖縄地方を北上した後、29日には勢力を維持したまま本州の南海上を北東に進み、30日0時に三陸沖で温帯低気圧となった。台風周辺の発達した雨雲や本州付近に北上した前線の影響で、西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に大雨となった。

表 3－1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上					
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	51,800	5,620	{ 76,700 2,620 千本 22 千鉢	7,330	100	
水 陸 稲	2,940	58	495	108	1	兵庫、埼玉、群馬
麦 類	2,060	300	597	18	0	福井、宮城、石川
か ん し ょ	50	－	20	1	0	鹿児島
雑 穀 ・ 豆 類	17,300	3,690	3,310	714	10	愛知、福井、三重
野 菜	7,700	1,400	37,100	4,760	65	千葉、高知、兵庫
果 樹	6,410	170	4,670	939	13	富山、長野、和歌山
工 芸 農 作 物	14,500	0	30,100	658	9	鹿児島、沖縄、香川
飼 肥 料 作 物	852	－	299	2	0	茨城、埼玉、静岡
そ の 他 農 作 物	38	11	{ 2,620 千本 22 千鉢	133	2	鹿児島、茨城、和歌山

注： 台風第21号及び第22号の農作物被害は、台風が短期間に接近・上陸したことから、台風ごとの被害を把握することが困難であるため、一括して調査した。